

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

### 1

## 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください。)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があるので表示しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

### 注意

	禁止 湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
	必ず実行 凍結が予想される場合は水を抜いてください。 凍結破壊で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)
	分解禁止 ロンタッチソケットに組みつけられているフィルター、逆止弁部は取り外さないでください。 逆流や温度調節/バルブ破損のおそれがあります。

### 2-1

## 使用条件

### 1. 使用水圧の確認

(1) 瞬間型給湯機と組み合わせる場合  
給水圧力 最低必要水圧・・・(下表参照)  
最高水圧・・・0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧(MPa)

給湯機タイプと号数	最低必要水圧	
TOTO ハイカスタム	16号	0.06
	20号	
	16号	
TOTO ハイトリコン	20号	0.05
	21号	
	24号	
	16号	
TOTO ハイコラソンド	20号	0.06
	24号	
	約21号	
TOTO ハイアクティ	約27号	0.05

<設定条件>

項目	比例制御タイプ
吐水/ハンドル	全開
吐水温度	38℃
給湯配管長さ	5m
着火条件	・給湯機が着火する下限の圧力 ・水温が高い(25℃) 夏期を想定。
出湯温度	60℃

※能力手動タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さい方に切替えると着火しやすくなります。

# 2-2

(2) 貯湯式温水器と組み合わせる場合  
 給水・給湯圧力 | 最低必要水圧・・・0.05MPa  
 | 最高水圧・・・0.75MPa

(3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

### 2. 給湯温度の確認

- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 給湯温度は最高85℃以下でお使いください。
- 電気温水器ご使用の際は、給湯温度を85℃以下に調節してください。85℃以上で使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し水漏れのため家財に損害を与えるおそれがあります。

### 3. 配管について

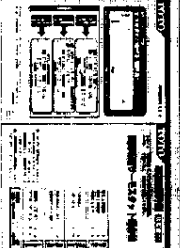


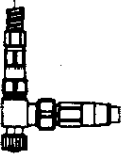

- 湯水を逆配管しないでください。  
給水ホースにはクラップルを、給湯ホースにはクラップルを貼付けています。なお、給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

### 4. 止水栓について

- 水勢の調節及び器具の点検をよういするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

# 3

## 部品の確認

名	称	数	量
1	取扱説明書・保証書	1冊	
2	ストッパー	1個	
3	ワンタッチソケット	2個	
4	水抜コック(寒冷地のみ)	1個	
5	開閉工具	1個	

01. 8. 20

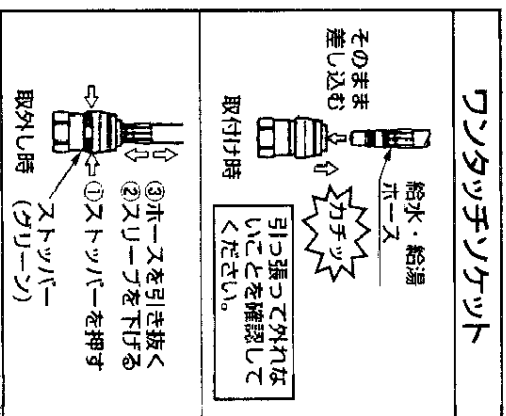
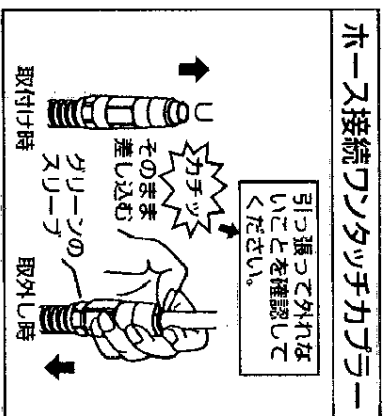
# 4

## 取付け前に

より簡単に施工していただくために、本商品は、ホース接続ワンタッチカプラー及びワンタッチソケットを採用しています。

### 1.ホース接続ワンタッチカプラー

混合栓本体のホース接続管の脱着がワンタッチで可能です。接続の際はグリーン側のスリーブ側を接続管に挿入しカチッと音がするまで押し込んでください。外す時は、グリーン側のスリーブをひき下げてホース自体を下方に引っ張ってください。



### 2.ワンタッチソケット (一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし)

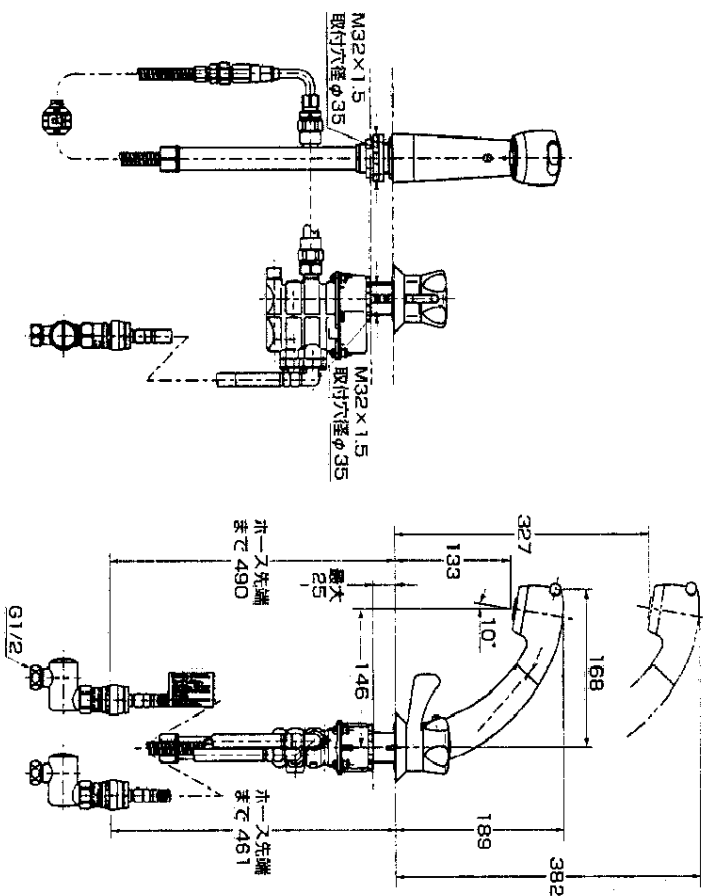
給水・給湯ホースとソケットの脱着がワンタッチで可能です。接続の際は、ホースをソケットに挿入し、カチッと音がするまで押し込んでください。確実に接続されるとグリーン側のストッパーが写ります。外す時はストッパーを左右から押し込み、ソケットを下げてホースを引き抜いてください。

※ワンタッチソケットは、フィルター・逆止弁部と一体で同梱されています。

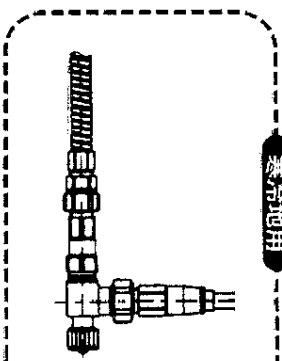
# 5

## 完成図

### 一般地用

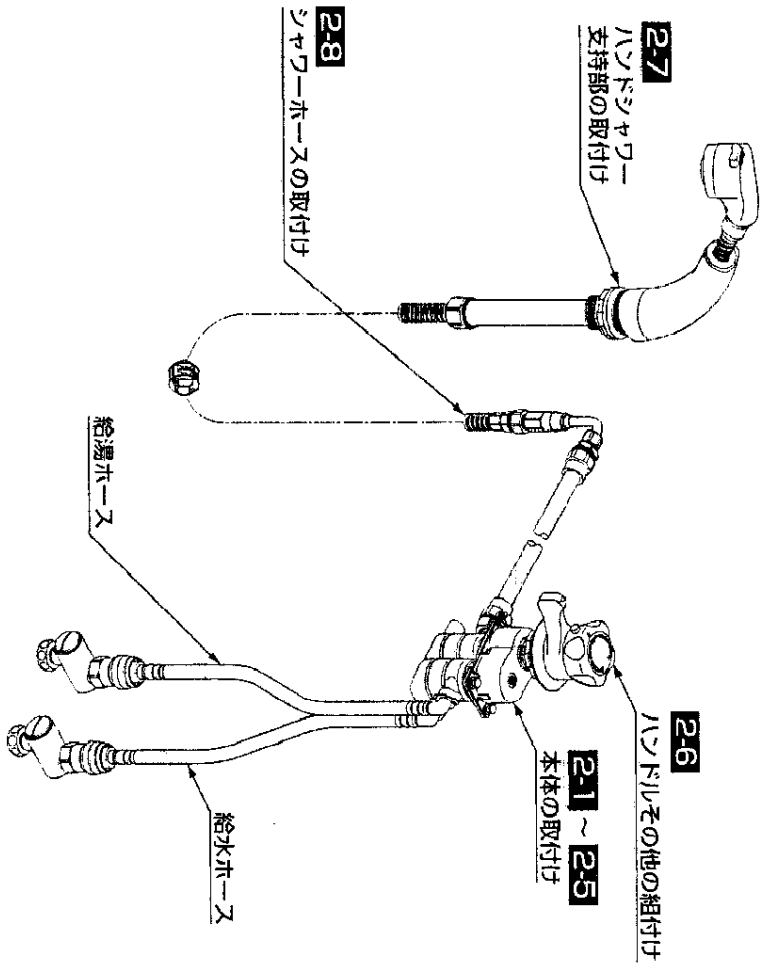


### 寒冷地用



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

# 6-1 施工手順



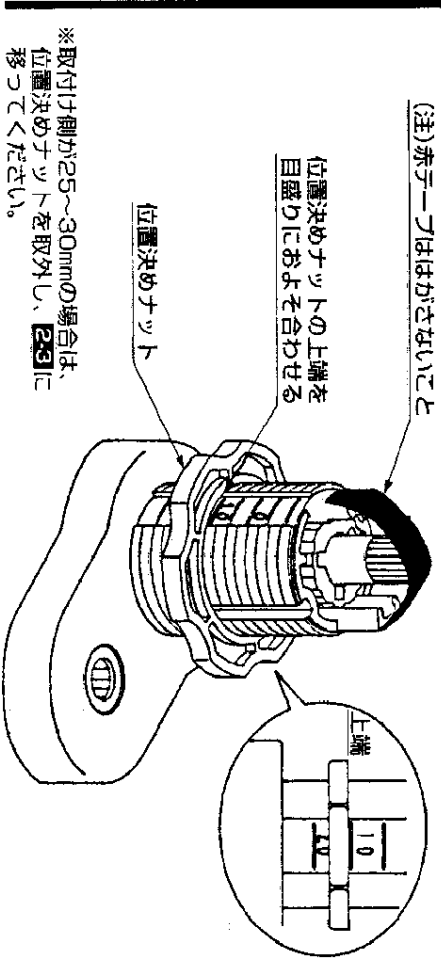
# 6-2

## 2-2 目盛りに合わせて

先に測った厚みを参考に、位置決めナットの上端を目盛りにおよそ合わせる。

(注) 赤テープははがさないこと

位置決めナットの上端を目盛りにおよそ合わせる



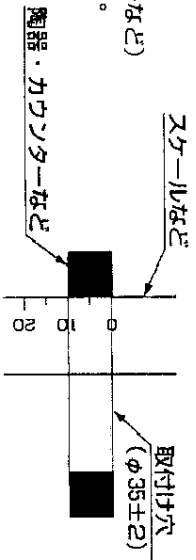
※取付け側が25~30mmの場合は、位置決めナットを取外し、2-3に移ってください。

## 1 給水管内の清掃

器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

## 2-1 本体の取付け

取付け側の厚みを測定  
まず取付け側(陶器・カウンタなど)  
の厚みをスケールなどで計測する。



## 2-3 仮締めする

締め付けナット

スリッパワッシャ

座金

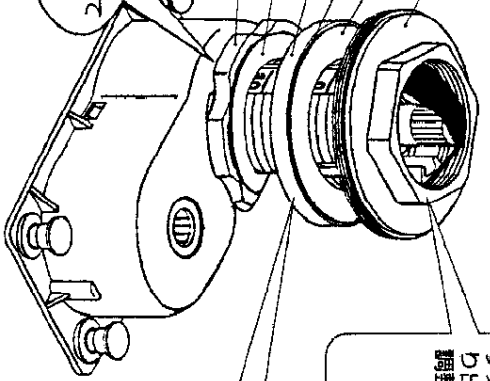
パッキン(黒)

パッキン(白)

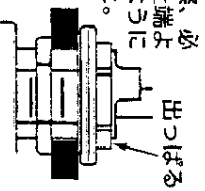
位置決めナット

※取付け側が25~30mmの場合は取り外すこと。

目盛りを手前に向けて仮固定する。



締め込んだ際、必ずナットの上端より出っばるよう調整すること。



パッキン(黒)と座金は本体側の切り欠きに合わせて取り付けてください。

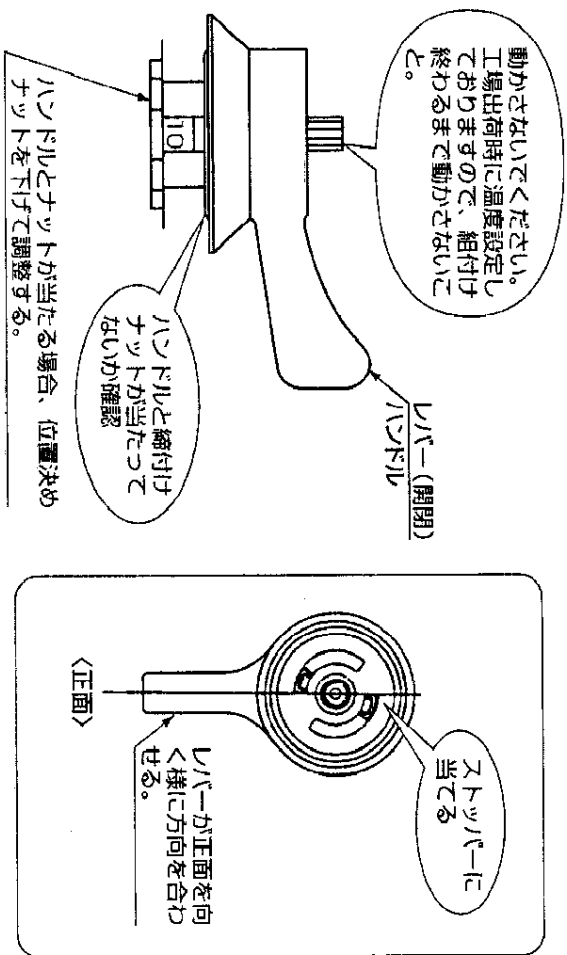
パッキン(黒) 切り欠き

パッキンは締め付けの前  
に必ず矢印の方向へ押込んで  
すき間を無くすこと。

裏面へつづく

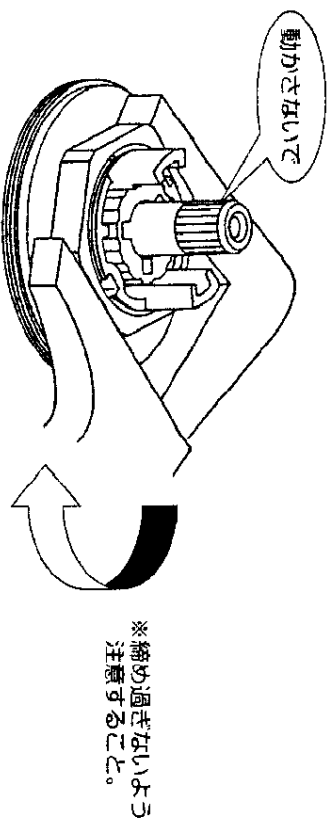
※パッキンと本体のすき間があると、取付面より下に水が漏れることがあります。必ずすき間を無くすこと。

## 2-4 レバー（開閉）ハンドルを仮組みしてレバーの向き、位置決めナットを微調整する。（赤テーパーをはがす）



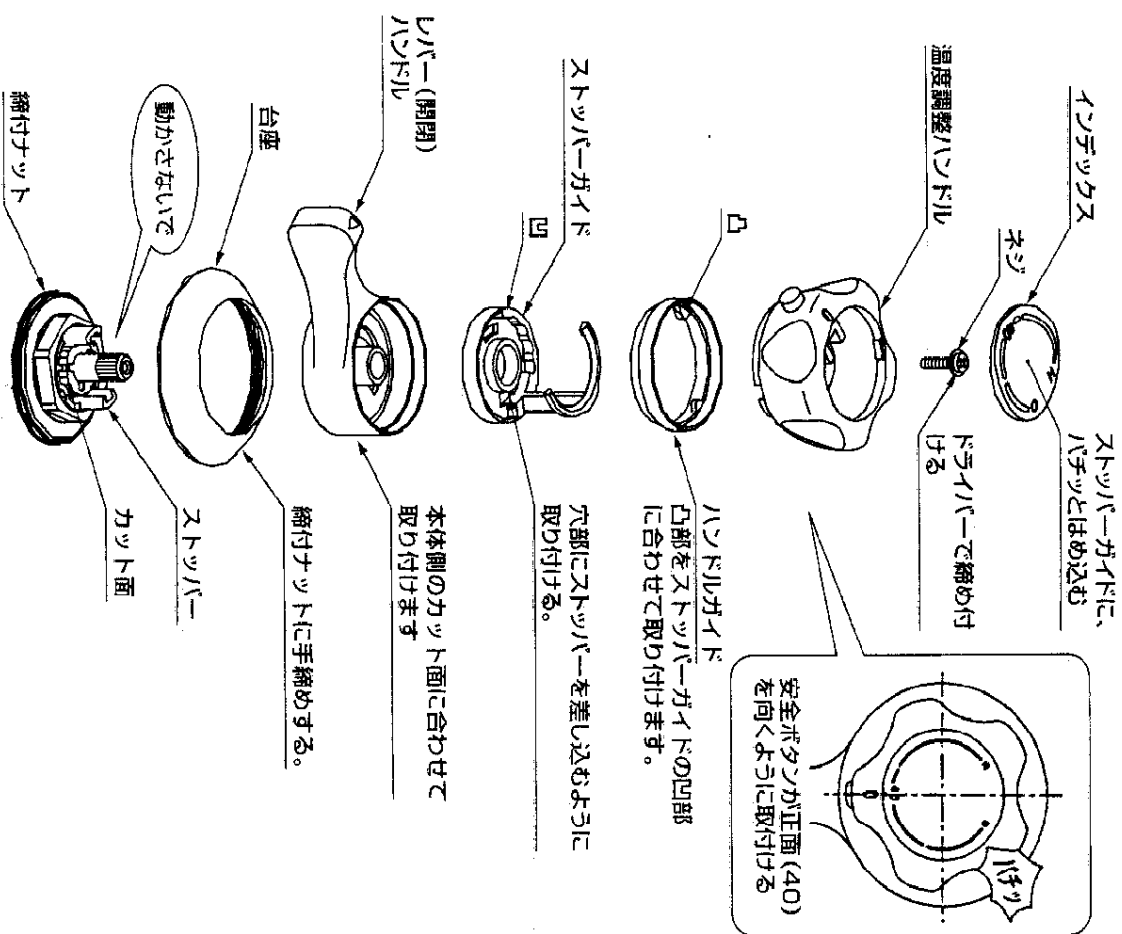
## 2-5 レバー（開閉）ハンドルを外し本締めする

本体が共回りしないように注意して締め付けること。

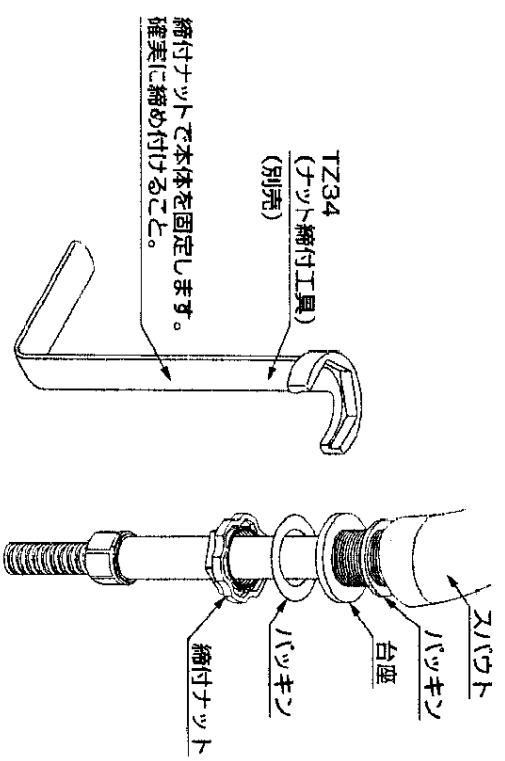


※本体が回転してしまった場合は本体を回転させて、位置を戻す。

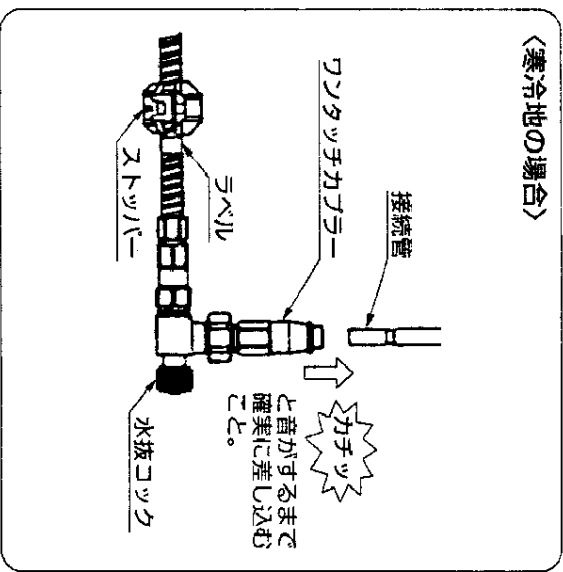
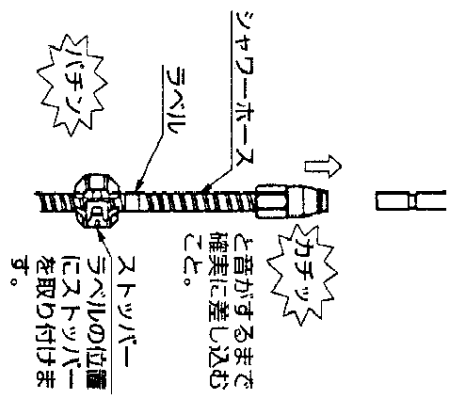
## 2-6 ハンドルその他の組み付け



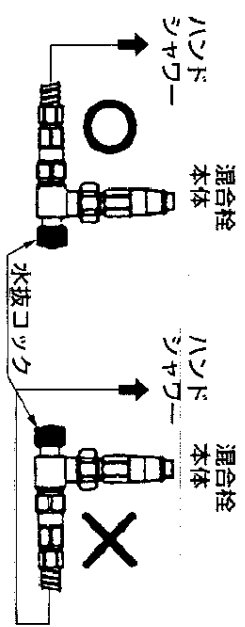
2-7 ハンドシャワー支持部の取付け



2-8 シャワーホースの取付け

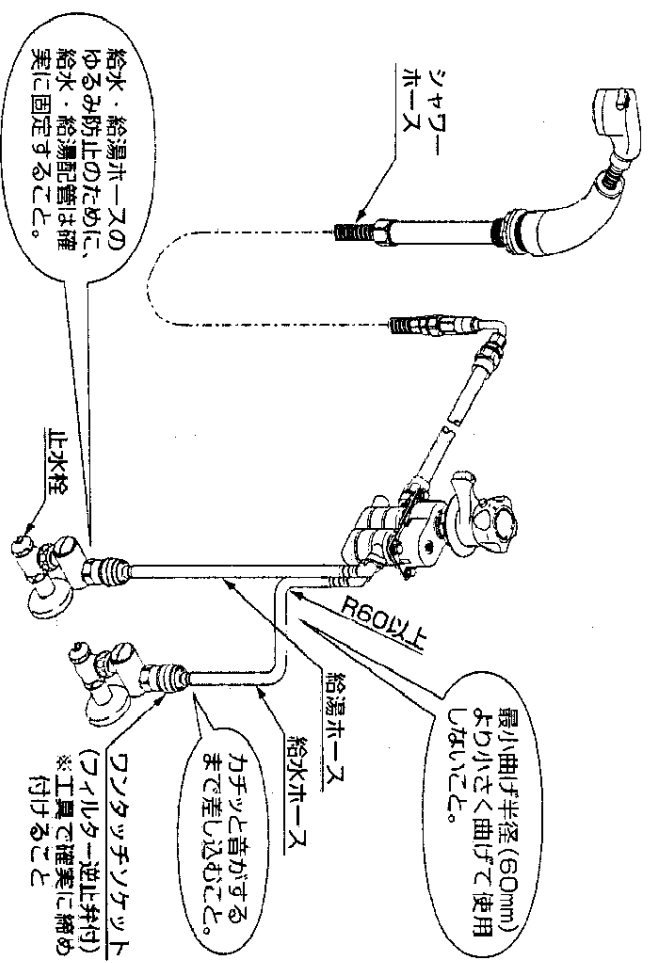


●水抜コックの取付け方向に注意 (寒冷地の場合)



※水抜コックにシャワーホースを締め付けた後ワンタッチカプラーを、接続管に押し込むこと。シャワーホースが、水受けトレイに絡まらなくなります。

2-9 ワンタッチソケット及び給水・給湯ホースの接続



※ホースは最小曲げ半径 (60mm) より小さく曲げて使用しないこと。折れて早期破損を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げないように注意すること。また、金具本体端面から極端に屈曲して施工しないこと。

# 7

## 取付け後の確認と調整

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

### 1. 水漏れの確認

止水栓を開き、給水・給湯ホースやシャワーホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

### 2. フイルターの掃除

フイルターが詰まると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。  
器具取付け後は⑧フイルターの掃除をご参照になり、必ずフイルターを掃除してください。また、お客様にも時々掃除していただくようご指導ください。

### 3. 温度確認及び調節

工場で温度調節をしています。取付現場の圧力状況などによって目盛りどおりの水（湯）にならない場合があります。  
その場合は「取扱説明書」の温度調節の仕方をご参照になり、温度調節を行ってください。

# 8

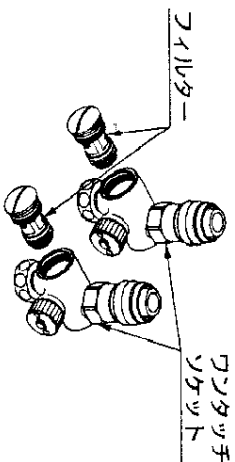
## フイルターの掃除

### 注意

**!** フイルターの掃除をする際は、いきなりフイルターをゆるめずに、止水栓又は元栓をしめてから行ってください。  
湯・水が噴き出てやけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
必ず実行

器具取付け後は必ずフイルターを掃除してください。

フイルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。  
また、お客様にも、ときどき掃除をしていただくようにご指導ください。  
※フイルターを取り外すときは、付属の開閉工具で止水栓を開めた後、フイルター一辺を外してください。



# 9

## 寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜きを行っておいください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

### 注意

<p><b>!</b> 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。 凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>必ず実行</b></p>
<p><b>禁止</b></p> <p>水抜きコックは、水抜き以外の目的では開けないでください。 水抜きコックをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、温水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 解水機をご使用の場合、水栓には絶対通電しないでください。 水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>注意</b></p>

下記の手順にしたがって、水抜きをしてください。

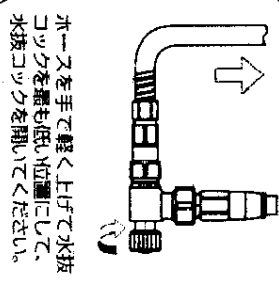
### 水抜き方法

①ハンドシャワーをストップするまで引き出してください。  
水抜きの際、ハンドシャワーを振ると中の水が抜けやすくなります。

②コックを矢印の方向に引張って取り外します。  
※水抜き後、コックを必ず元の様に取り付けてください。

③開閉ハンドルを右いっぱい(全開)に回してください。

④全ての水抜きコックを開けます。



# 10 分解と点検

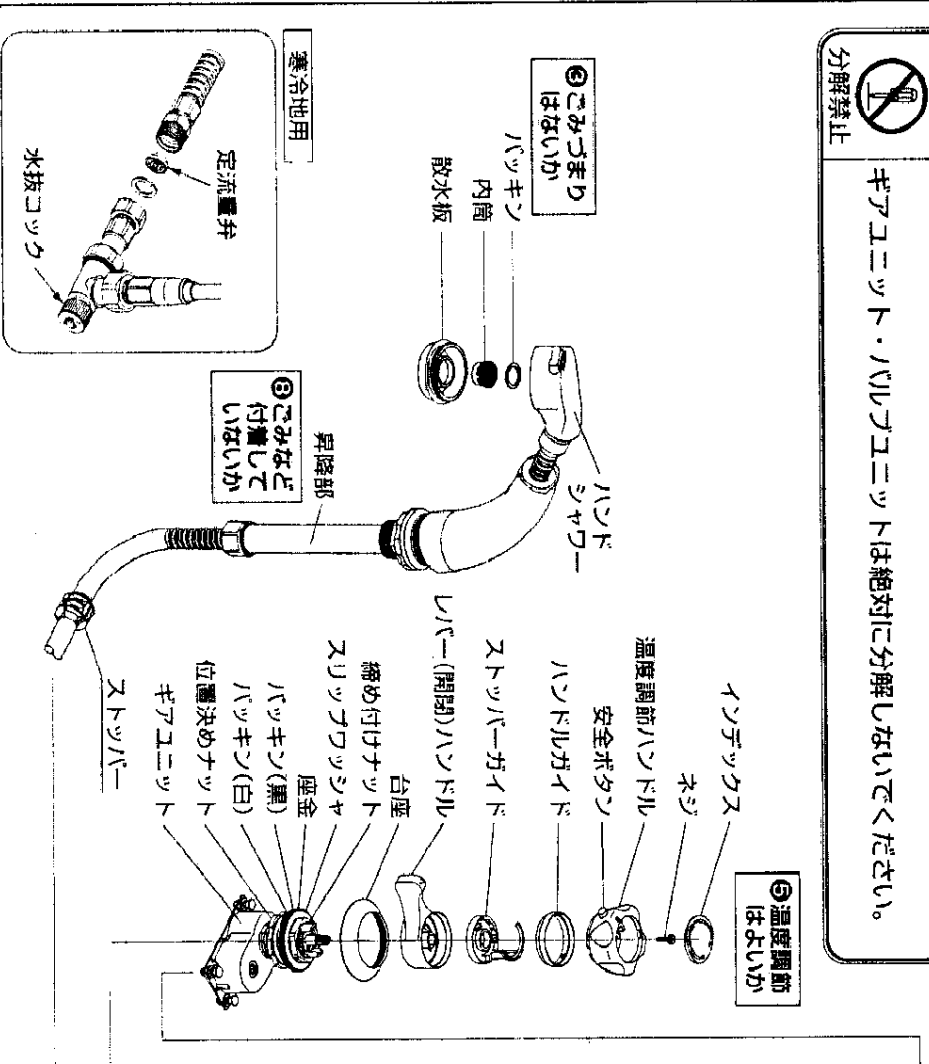
取付け後、万一故障した場合は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

## 注意



分解禁止

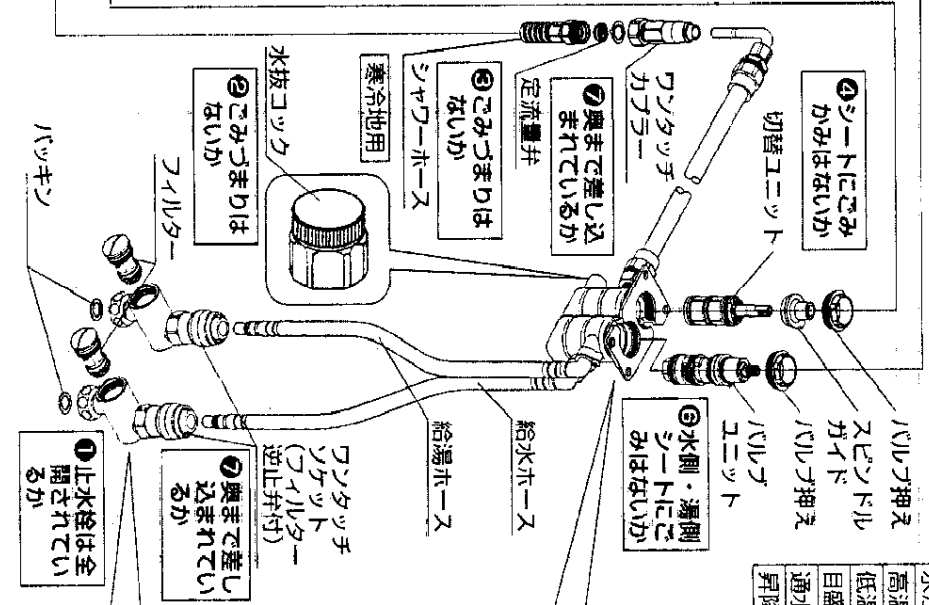
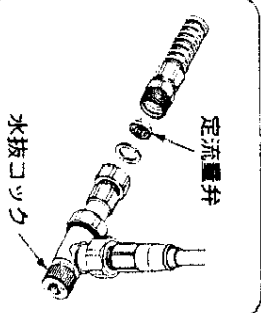
ギアユニット・バルブユニットは絶対に分解しないでください。



⑤ 温度調節はよいか

③ ごみなど付着していないか

③ ごみごまりはないか



④ シートにごみかみはないか

⑥ 水側・湯側シートにごみはないか

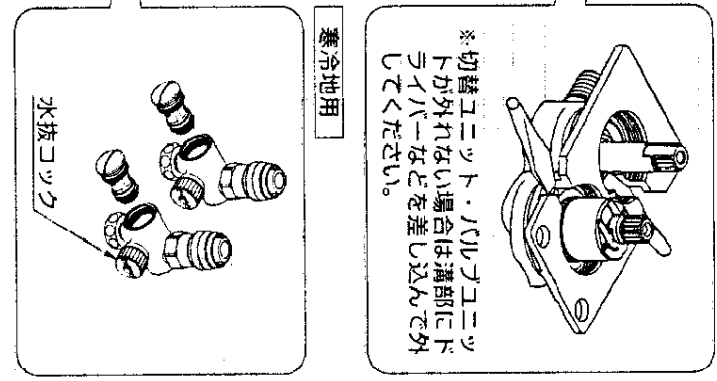
⑦ 奥まで差し込まれているか

③ ごみごまりはないか

② ごみごまりはないか

⑦ 奥まで差し込まれているか

① 止水栓は全開されているか



※切替ユニット・バルブユニットが外れない場合は湯前にドライバーなどを差し込んで外してください。

現象	点検項目
吐水量が少ない	①・②・⑤
水が止まらない	④
高温しか出ない	①・②・④・⑤・⑥
低温しか出ない	①・②・④・⑤・⑥
目盛りどおりの湯が出ない	①・②・④・⑤・⑥
通水時、床かぬれる	⑦
昇降がスムーズでない	③

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。  
手渡してできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

再生紙を使用しています。